

XenServer 7.4リリースノート

XenServer 7.4へようこそ。このドキュメントでは、XenServer 7.4の重要な情報について説明します。

XenServer 7.4は、最新リリース(CR)です。最新リリースモデルでは、お客様が新しい機能をいち早く利用できます。長期サービスリリース(XenServer 7.1 LTSR)と異なり、このリリースでは、XenServerで設定された機能の安定性が保証されています。

XenServer 7.4には、以下のエディションが用意されています。

- Enterprise Edition
- Standard Edition
- Free Edition

各エディションで使用できる機能については、「[XenServerの機能マトリックス](#)」を参照してください。

XenServer 7.4は[XenServerの製品ダウンロードページ](#)から入手できます。

XenServer 7.4で追加および強化された機能

XenServer 7.4では、アプリケーション、デスクトップ、サーバー仮想化に使用できる機能が強化されました。XenApp/XenDesktopのライセンスを持つお客様は、すべての機能をご利用いただけます。

vGPU XenMotion^{Enterprise Edition}

vGPUを搭載した仮想マシンをシャットダウンすることなくホスト間で移行できます。これによって管理者は、vGPUが有効なXenMotionを活用できます。

vGPU XenMotionは、GPUベンダーが提供するサポートされるソフトウェアおよびグラフィックカードとともに使用できます([ハードウェア互換性リスト](#)を参照してください)。

このリリースでは、サポートされるソフトウェアおよびグラフィックカードを使用する仮想マシンで、XenMotionだけでなく、Storage XenMotionおよびvGPUが有効な仮想マシンのサスペンドも使用できます。

AMD MxGPU^{Enterprise Edition}

XenServerは、新たにAMDの仮想化グラフィックソリューションをサポートするようになり、仮想化グラフィック分野をリードし続けています。

XenServerのお客様は、AMD FirePro S7100シリーズGPUでAMD MxGPUを使用できます。[ハードウェア互換性リスト](#)でサポートされているホストの一覧を参照してください。

詳しくは、『[Configuring Citrix XenServer 7.4 for Graphics](#)』を参照してください。

Citrix Cloud XenAppおよびXenDesktop Service利用者のXenServer権限

オンプレミスでデスクトップおよびアプリを使用できるCitrix Cloud XenAppおよびXenDesktop Serviceのサブスクリプションをお持ちの場合、XenServerでこれらのデスクトップやアプリをホストする権限があります。

XenServer 7.4では対象ライセンスでこの機能を有効にするため、オンプレミスのXenAppおよびXenDesktop権限と同じ高度な機能をすべて使用できるようになります。

[ライセンス管理ツール](#)でライセンスをダウンロードします。このライセンスをライセンスサーバーにインストールして、XenAppおよびXenDesktop ServiceサブスクリプションでオンプレミスのXenServerを使用します。

インストールオプション

XenServer 7.4は、XenServerの製品ダウンロードページから次のパッケージで入手できます。

- XenServer 7.4アップデートISO。このファイルを使用して、既存のXenServer 7.3 CRをアップデートします。
- XenServer 7.4基本インストールISO。このファイルを使用して、XenServer 7.4を新しくインストールするか、XenServer 6.2、6.5、7.0、7.1累積更新プログラム(CU)1、または7.2からアップグレードします。

注意:

- ホストのアップデートにXenCenterを使用する場合、アップデート前にXenCenterをXenServer 7.4ダウンロードページにある最新バージョンにアップデートしてください。
- 必ずプールマスターを先にアップデートしてから、その他のホストをアップデートします。

次の表は、XenServerの既存のバージョンからXenServer 7.4に移行する時に利用できるオプションです。

インストール済みバージョン	XenServer 7.4アップデートISOを使用したアップデート	XenServer 7.4基本インストールISOを使用したアップグレード
XenServer 7.3	可能	なし
XenServer 7.2	なし	可能
XenServer 7.1 CU 1	なし	可能
XenServer 7.0	なし	可能
XenServer 6.5	なし	可能
XenServer 6.2	なし	可能

CU 1が適用されていないXenServer 7.1からのアップグレードはサポートされていません。XenServer 7.1を最新の累積更新プログラム(CU)にアップデートしてから、XenServer 7.4にアップグレードしてください。

インストールを開始する前に、『[XenServer 7.4インストールガイド](#)』で説明されているインストール手順、およびシステム要件を確認してください。

長期サービスリリース(LTSR)から最新リリース(CR)への変更

XenServer LTSRを実行していて、新機能を利用したい場合、XenServer最新リリース(CR)ストリームに変更することもできます。CRストリームからXenServerバージョンを使用する場合、継続してサポートを利用するには、定期的に新しいCRを選択する必要があります。

XenServer 7.1 CU 1 LTSRからアップグレードして、この最新リリースに移行してください。

最新リリース(CR)から長期サービスリリース(LTSR)への変更

XenServer CRを実行しているユーザーが、保証済みの安定した機能セットが搭載されたXenServerのバージョンに移行したい場合、XenServer LTSRに変更できます。最新のXenServer LTSRはXenServerの製品ダウンロードページから入手できます。

XenServer 7.1 CU 1 LTSRの新規インストールを作成して最新のLTSRに移行してください。

LTSRとCRについては、[XenApp、XenDesktop、XenServerサービスのオプション](#) (英語)を参照してください。

ライセンス管理

XenServer 7.4のライセンスが必要な機能を使用するには、お客様がCitrixライセンスサーバーをバージョン11.14以上にアップグレードする必要があります。

XenServer 7.4のライセンスについては、『[XenServer 7.4 Licensing FAQ](#)』(英語)を参照してください。

シトリックス製品との互換性

XenServer 7.4は、Citrix XenAppおよびXenDesktop 7.15(LTSR)および7.17と相互運用可能です。

XenServer 7.4は、Citrix PVS 7.15および7.17と相互運用可能です。

ローカライズのサポート

このリリースでは、XenCenterの日本語および簡体字中国語バージョンも使用できます。

製品ドキュメント

XenServer 7.4の製品ドキュメントは、[XenServer 7.4製品ドキュメント](#)を参照してください。XenServerに関するよくある質問と回答については、『[XenServer 7.4 Technical FAQ](#)』(英語)を参照してください。

製品に付属のドキュメントは、必要に応じて改訂される場合があります。[シトリックス製品ドキュメント](#)の「[XenServer 7.4](#)」ページで、最新のドキュメントを定期的にチェックすることをお勧めします。

既知の問題と考慮事項

次のセクションでは、このリリースの既知の問題とその対応策、およびそのほかの考慮事項について説明します。

全般

- Intel Xeon 81xx/61xx/51xx/41xx/31xx CPUをベースにしたシステムの場合、XenServerをレガシーブートモードではなくUEFIブートモードで実行することを強くお勧めします。
- 仮想マシンの実行中にプールのCPU機能セットが変更された場合（たとえば、新しいホストが既存のプールに追加された場合や、仮想マシンが別のプールのホストに移行された場合）、仮想マシンは起動時に適用された機能セットを使用し続けます。プールの新しい機能セットを使用するように仮想マシンをアップデートするには、仮想マシンの電源をオフにしてから起動する必要があります。XenCenterで[再起動]のクリックなどによって仮想マシンを再起動しても、仮想マシンの機能セットはアップデートされません。
- コンテナの名前を変更しても、コンテナ管理ビューのアップデートはトリガーされません。また、Ubuntu 14.04では、XenCenter外部からコンテナを一時停止または一時停止解除しても、ビューのアップデートがトリガーされることはありません。つまり、XenServerでは、現在の（名前変更/一時停止/一時停止解除された）コンテナの状態が表示されない場合があります。この根本原因は、ビューがDockerイベント通知によってのみ更新されることです。回避策として、同じ仮想マシンで実行されている無関係なコンテナでアクション（開始や停止など）を実行することで、手動で更新をトリガーできます。
- コントロールドメイン(Dom0)に32GBを超えるメモリを割り当てないでください。（特に起動時に）断続的に仮想マシンがフリーズすることがあります。
- ホストをスレーブとしてプールに追加すると、パフォーマンスアラートが機能しなくなります。この場合、スレーブがプールに参加した後に、xe CLIを使用してパフォーマンスアラートを構成できます。詳しくは、『Citrix XenServer管理者ガイド』を参照してください。

国際化

- ホストコンソールでは、日本語などの非ASCII文字を使用することはできません。
- XenServerのルートパスワードには非ASCII文字を使用することはできません。
- XenServer ToolsをインストールしたWindows仮想マシンでは、XenCenterでデフォルトのデスクトップコンソールを使用すると、2バイト文字のコピーおよび貼り付けが失敗することがあります。貼り付けられた文字は疑問符(?)で表示されます。この問題を回避するには、代わりにリモートデスクトップコンソールを使用します。

ハードウェアの互換性

- XenServer [ハードウェア互換性一覧\(HCL\)](#)で、ハードウェアの互換性についての最新情報を確認してください。

ストレージ

- Nutanixストレージリポジトリを使用すると、その後HAを再有効化しても、HAを無効化した後に残る2つのVDI（以前にHAステートファイルおよびプールメタデータに対して使用）は再利用されません。お客様がこれらのVDIを削除しても安全です。

ネットワーク

- 場合によっては、ソフトウェアFCoEスタックを使用してFCoE SANからXenServerホストをブートすると、ホストの初期化フェーズで一時的にリンクが切断されるためにホストが無応答になることがあります。ホストが長い間無応答に見える場合、ホストを再起動してこの問題点を解消してください。
- XenServerでは、FCoE SRで使用されるNICをアンプラグすることはできません。

XenCenter

- XenCenterを実行するコンピューター上でフォントサイズや画面解像度を変更すると、ユーザーインターフェイスの表示が乱れる場合があります。デフォルトのフォントサイズは96 DPIです (Windows 8とWindows 10では[100%]に相当します)。

ゲスト

- XenServerで新しいハードウェアセキュリティ機能を使用すると、32ビットPV仮想マシンの全体的なパフォーマンスが低下することがあります。この問題の影響を受けるお客様は、次のいずれかを実行できます。
 - PV Linux仮想マシンの64ビットバージョンを実行する。または、
 - no-smep no-smapオプションを付加してXenをブートする。ホストのセキュリティ深度が浅くなることもあるため、これらのオプションはお勧めしません。
- AMD EPYCハードウェア上で実行されている仮想マシンは、CVE-2017-5715 (Spectreバリエーション2)を軽減しようとするクラッシュすることがあります。
- 一定期間(通常は10分)非アクティブ状態が続くと、HVM Linuxゲストのコンソール画面に何も表示されなくなることがあります。この問題を回避するには、ゲストのカーネル起動パラメーターにconsoleblank=0を追加します。カーネル起動パラメーターのアップデートについて詳しくは、ゲストOSのドキュメントを参照してください。
- ストリーミングされたvDiskを変更しても、PVSアクセラレータキャッシュは「初期化済み」状態のままで、「キャッシュ」状態には移行しません。vDiskが変更された仮想マシンは、電源が完全にオフになってから再起動すると、再びキャッシュされます。
- NVIDIA vGPU XenMotionを使用して仮想マシンを移行すると、ゲストのVNCコンソールが破損する可能性があります。vGPU XenMotionの実行後に、ICA、RDP、または別のネットワークベースの方法で仮想マシンにアクセスしてください。
- XenServer Toolsのインストール中に仮想マシンを再起動すると、一部のドライバーのインストールが完了しないことがあります。仮想マシンを再起動する前に、XenServer Toolsのすべてのインストールが完了していることを確認してください。

シトリックスについて

シトリックス(NASDAQ:CTXS)は、ソフトウェア定義ワークスペースへの移行を先導し、仮想化、モビリティ管理、ネットワーキング、およびSaaSソリューションを統合して、ビジネスの新たな方向性やユーザーがより働きやすい環境を実現します。シトリックスのソリューションは、デバイス、ネットワークやクラウドに関係なく、アプリケーション、デスクトップ、データ、コミュニケーションをユーザーが即座に利用できるセキュアなモバイルワークスペースの提供を通して、ビジネスモビリティを推進します。シトリックスの2015年度の年間売上高は32.8億ドルで、そのソリューションは世界中の40万以上の組織において1億人以上の人々に利用されています。詳しくは、www.citrix.co.jpを参照してください。

このレポートおよびそのほかの著作物、ならびに本契約の下での作業の実施にあたり作成、着想、創作、発見、発明または実用化される成果物の著作権は、シトリックスが単独かつ完全に有し続けるものとします。なお、お客様には、本契約に基づく内部配布および使用を目的に、この著作権に対する全世界での、非独占的な権利が許諾されます。本契約は、シトリックス製品のライセンスを付与するものではありません。シトリックス製品には個別のライセンスが必要です。シトリックスは、一般に認められた業界標準および手続きにより専門的かつ合理的な方法でサービスが履行されることを保証します。本保証の違反に対するお客様の唯一の救済方法は、シトリックスによる当該サービスの適時再履行に限られます。上記の保証は唯一かつ排他的なものであり、明示的、黙示的、法定を問わず、本契約の下で提供されるサービスまたは製品や、本契約の下で開発または提供されるプロセスまたは素材の性能やそれらから得られる結果に関する、商品性、特定目的への適合性、または権利侵害に対するすべての黙示の保証に代わるものとなります。シトリックスがお客様に提供したすべてのサービスに対する責任は、お客様が実際に支払った金額を上限とします。いかなる場合においても、付随的、二次的、間接的、または懲罰的な損害(収益の減損を含むがこれに限らない)に対して、契約違反、不法行為、または厳格責任によるかどうかにかかわらず、本契約の一方の当事者は相手方当事者に対し責任を負わないものとします。本契約に関する紛争は、アメリカ合衆国フロリダ州法に準拠するものとします。

サードパーティサイトへのリンク。これらのリリースノートには、シトリックス以外の組織により管理されるWebサイトのリンクが含まれている場合があります。シトリックスは、これらのサードパーティのWebサイトの内容や使用方法について、いかなる責任も保証または受諾しないものとします。これらのリンクはお客様の利便性のために提供されており、これらのWebサイトへのシトリックスの保証を示すものではありません。お客様の責任の下で、お客様が使用するWebサイトにコンピューターウイルスやその他の破壊的な問題がないことを確認してください。

© 1999–2018 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.

Citrix、およびXenは、Citrix Systems, Inc.の登録商標です。XenServer、およびXenCenterは、Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

そのほかのすべての製品名、社名、マーク、ロゴ、およびシンボルは、該当する各社の財産です。

851 West Cypress Creek Road
Fort Lauderdale, FL 33099
954-267-3000
www.citrix.com